

7月の漁況と海況 (内海側)

●海況

播磨灘 1~2日に実施した海洋観測結果によると東部では上下層の水温差はみられず20.8℃、北西部及び南部では東部10m層とも21.5℃内外を示しているが底層においては19.3℃で±2.0℃、中・西部は表・中層とも21.3℃に対し底層は17.0~17.5℃で±4.0℃各部の平均比較では東部、北西部、南部とも表・中層0.5℃高目、中西部は底層1.0℃低目。
宅水水道 16日の調査結果では東部表層23.3℃、中層22.7℃、底層22.2℃で±2.0℃。下水温差は1.0℃内外、中部は表層23.7℃、中層23.1℃、底層21.5℃内外で±2.0℃、西部は表層23.5℃、中層22.6℃、底層22.0℃で±1.5℃。各部の平均比較では東部の表・中層-1.5℃、逆に底層で+0.8℃、中部表・中層平均並、底層は東部を上回る+1.3℃、西部はやや高目。
大阪湾西部 (淡路島寄り) 南部では表層23.5℃、中層22.8℃、底層22.0℃で±1.5℃、北部表層23.0℃、中層22.6℃、底層22.4℃で±0.6℃。各部の平均比較では全層にわたって表・中層で+0.5℃内外、底層で+1.0℃内外それぞれ高目。

●漁況 (概況)

前月に引き続き漁船漁業の盛況期で各地とも活況を呈し明石瀬戸及びその東・西海域では小型曳網でマダコ、エビ、メイトカレイ、アヒナ、メバル、ペラ、五智網でタイ、曳網釣でマルアジ、タチウオ、一本釣でススキ、延縄でカサゴ、メバル、ペラ、刺網でキスなど。友ヶ島水道とその南・北海域では小型底曳網でエビ、タコ、アナゴ、キス、刺網でキス、マルアジ、ペラ、延縄でカサゴ、アナゴ、カサゴ、曳網でタチウオ、一本釣でタコ、アジなど。沼島周辺及び南・西海域では小型底曳網でエビ、アナゴ、キス、エビ、曳網でタチウオ、一本釣でヒラアジ、延縄でコヨウ、磯刺網でクルマエビ、エソ、アヒナなど。馬門南・北海域では小型底曳網でエビ、カニ、アカガイ、曳網でサワラ、タチウオ、一本釣でキス、タコ、延縄でハモ、カサゴ、アコオ、五智網でタイ、磯刺網でオコゼ、カレイ、メイトカレイ、八田網で豆アジ、小サバ、タコ産地。播磨灘中部海域では流し刺網でサワラ、巾着網でカタクチイワシ、マルアジ、北部では小型底曳網でカニ、エビ、タコ、サコ、カレイなどが主な漁業とその対象魚となっている。

●各地

(注) 以下は1日1隻当りの漁獲量@は1キロ当りの単価円、何隻は操業隻数)

- 明石浦** 小型底曳網メイトカレイ10キロ@1,500~2,300、タコ25キロ@400、アヒナメ5キロ@1,500、メバル5キロ@1,200、エビ10キロ@900、アナゴ5キロ@1,000、40隻。タコ桁曳網65キロ@550、(小)300、25隻。各曳網マルアジ50尾1尾200(目回220g)60隻。タチウオ300尾1尾50、10隻。ススキ一本釣8キロ@3,000(目回1キロ以上)15隻。ペラ延縄10キロ@1,100、2隻。ブンチン漁イシカレイ10キロ@1,200~2,000、タコ5キロ@500、7隻。
- 岩屋** カタクチイワシ船曳網2,000~3,000キロ@30~50、1統。タイ五智網3~5尾@4,800(目回1.5キロ)10隻。タコ桁曳網55キロ@400、10隻。エビ樽網エビ25キロ@850(小)425、クルマエビ5~6尾@4,000、メイトカレイ2キロ@2,000、30隻。マルアジ曳網50尾1尾160、60隻。ススキ一本釣2~5尾@3,000、20隻。各延縄カサゴ・メバル10キロ@1,000、アナゴ3キロ@500、6隻。ペラ30キロ@900、10隻。キス流刺網20キロ@900、6隻。タコ産地50キロ@680(小)550、4隻。
- 由良** 小型底曳網アナゴ12キロ@800、タコ10キロ@600、シラサエビ8キロ@1,200、キス4キロ@700、その他20キロ@200、60隻。キス流刺網22キロ@800、15隻。磯刺網アマカレイ7キロ@2,200、ペラ13キロ@800、その他7キロ@1,100、20隻。各延縄カサゴ50キロ@700、10隻。アナゴ15キロ@800、カサゴ12キロ@800、タチウオ曳網45キロ@200、40隻。各一本釣タコ8キロ@600、30隻。アジ12キロ@1,100、50隻。突棒アワビ5キロ@1,600、サザエ4キロ@450、4隻。テングサ150キロ@40、13隻。
- 沼島** 小型底曳網カワツエビ8キロ@1,150、小エビ90キロ@180、ウマズラハギ55キロ@50、アナゴ8キロ@450、キス5キロ@450、エソ5キロ@70、チナガダコ5キロ@100、43隻。タチウオ曳網300尾1尾55、5隻。ヒラアジ一本釣13キロ@700(小)500、50隻。ヨコワ延縄20キロ@500、6隻。磯刺網クルマエビ6キロ@4,500、エソ20キロ@60、グチ3キロ@200、25隻。アワビ25キロ@950、3隻。突棒サザエ5キロ@500、タコ3キロ@600(小)500、4隻。
- 福良** 石桁網シラサエビ3キロ@3,000、カワツエビ2キロ@1,200、小エビ35キロ@350、ガザミ20キロ@550、アガヒ10キロ@1,500(ムキ身)雑魚5キロ@330、36隻。各曳網サワラ10キロ@1,200(目回1.5キロ)10隻。タチウオ100キロ@200、120隻。各一本釣キス3キロ@950、10隻。タコ5キロ@400、10隻。ハモ延縄10キロ@1,200、8隻。八田網豆アジ300キロ@150、小サバ200キロ@30、2統。突棒ウニ10箱1箱620、10隻。アワビ15キロ@1,500、サザエ3キロ@600、10隻。タコ産地、60キロ@550、3隻。
- 丸山** タイ五智網10キロ@2,800、8隻。各延縄カサゴ10キロ@1,200、15隻。アコオ5キロ@4,000、5隻。磯刺網オコゼ10キロ@2,000、アマカレイ3キロ@1,000、メイトカレイ4キロ@1,100、8隻。タコ産地40キロ@630、7隻。

●本月の特記事項

本年は明石瀬戸及びその東南海域ではマダコの豊漁をみ、明石浦漁協所属船のタコ漕で1日1隻60~70キロの漁獲量を示しているが値段は安値が続いている。またマルアジ曳網釣も比較的好漁であるが好(1日1隻約500尾)不(20尾)漁が激しい。

●今後の見込み

7月中旬~下旬の白鳥丸調査では明石瀬戸とくに神戸市舞子沿岸~明石市二見沖合にかけてウマズラハギの近年にない集中的な魚群分布を示し魚群量も極めて濃密で大型群は体長17cm内外、小型群は10cm内外の二群があり、前月の調査時より5~7cmの成長を示し今後更に内海での成長と合まって本年は豊漁が期待できる。またマダコは大阪湾北西部、明石瀬戸、播磨灘東部海域に広く小ダコが分布しており、漁獲割合が大60%、小40%程度で例年よりかなり多く本月に引続き豊漁が期待できるが、更には入網時における小ダコの放流を完全に実施し資源の維持を計りたいものである。(水試 岩井)

